

## 東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査票 (就学前児童保護者用) (案)

### 「東久留米市 子ども・子育て支援ニーズ調査」 ご協力をお願い

日頃より市政に対しご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

突然のご案内で大変恐れ入りますが、東久留米市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年度より、「子ども・子育て支援法」に基づく新たな子ども・子育て支援新制度が、スタートし、東久留米市の幼児教育(幼稚園等)・保育や、子ども・子育て支援の充実を図るために、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施してきました。

2020年度から2024年度までの第二期子ども・子育て支援事業計画を、東久留米市の子育て家庭の実情やニーズに合ったものにするため、現在小学校就学前のお子さんがあるご家庭に、子ども・子育て支援サービスの利用希望に関するニーズ調査を実施いたします。

調査結果は、今後の東久留米市における子ども・子育て支援施策を検討する上で、重要な資料となります。お忙しいところ、まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成30年10月

東久留米市長

※この調査は、市内にお住まいの小学校就学前(平成24年(2012年)4月2日～平成30年(2018年)4月1日生まれ)のお子さんの中から、無作為で2,000人を選ばせて頂き、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。この調査票についてご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

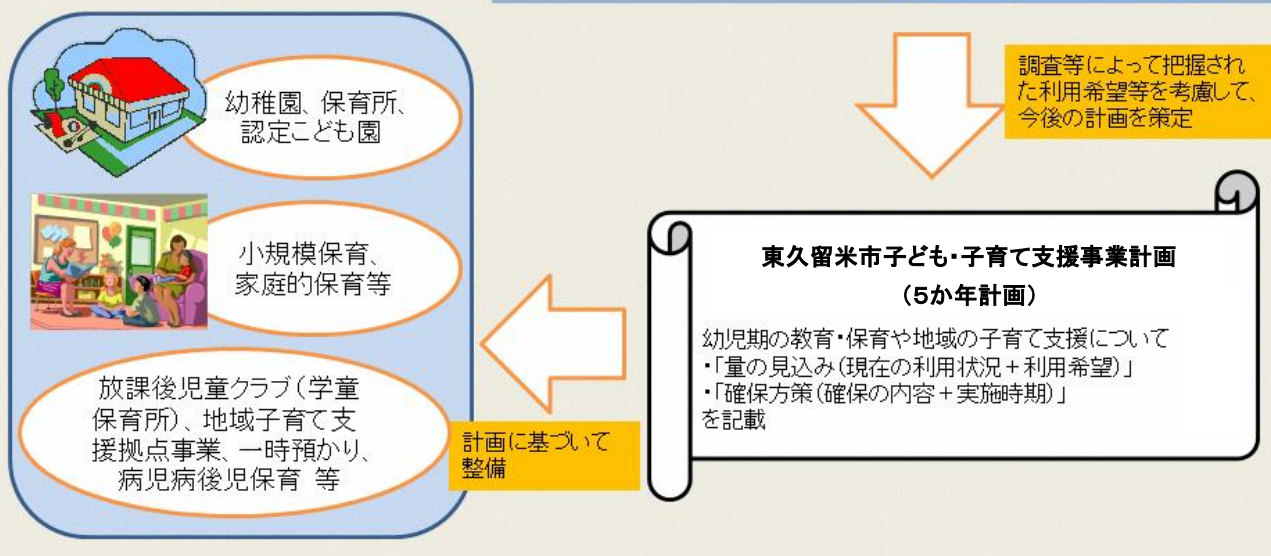
【担当】 東久留米市子ども家庭部 子育て支援課 子ども政策担当  
【住所】 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1  
【電話】 042(470)7777 内線2440・2441  
(受付時間:平日9:00～12:00及び13:00～17:00)

## 【ご記入に当たってのお願い】

- 1 調査票には、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご回答ください。（保護者ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などが代わって、保護者ご本人の意見をご記入ください。）
- 2 ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。
- 3 回答方法は、選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけていただく場合、数字を記載していただく場合、ご自由に記述していただく場合があります。
- 4 選択肢の中からお選びいただく場合には、選択していただく数が設問により異なりますので、ご注意ください。
- 5 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印にしたがってご回答ください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）で11月9日（金）までにご投函くださいますようお願いいたします。ご住所、お名前は記載なさらなくて結構です。また、封筒には調査票以外は同封しないようお願いいたします。

## いただいた回答は東久留米市の子育て支援の充実に生かされます



## お住まいの地域についてうかがいます。

問1-1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- |        |        |             |         |        |         |
|--------|--------|-------------|---------|--------|---------|
| 1. 上の原 | 5. 大門町 | 9. 学園町      | 13. 幸町  | 17. 南町 | 21. 野火止 |
| 2. 神宝町 | 6. 東本町 | 10. ひばりが丘団地 | 14. 中央町 | 18. 滝山 | 22. 八幡町 |
| 3. 金山町 | 7. 新川町 | 11. 本町      | 15. 南沢  | 19. 下里 | 23. 弥生  |
| 4. 氷川台 | 8. 浅間町 | 12. 小山      | 16. 前沢  | 20. 柳窪 |         |

問1-2 お住まいの丁目を数字でご記入ください。

丁目（東本町及びひばりが丘団地は除く）

問1-3 封筒（宛名ラベルの右端）に記載のあるアルファベットをご記入ください。

（お住まいの地区の中学校区を判定するために使用します）

## 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月、現在の年齢をご記入ください。

西暦 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月生まれ（\_\_\_\_\_歳）

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. きょうだい数 _____人（本人を含む）               |
| 2. 末子の生年月 西暦 _____年 _____月生まれ（_____歳） |

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |               |
|-------|-------|---------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（_____） |
|-------|-------|---------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。※単身赴任等により配偶者と別居している場合は「1. 配偶者がいる」を選択してください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |         |         |          |               |
|----------|---------|---------|----------|---------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（_____） |
|----------|---------|---------|----------|---------------|

## 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |          |                   |           |
|----------|-------------------|-----------|
| 1. 父母ともに | 4. 祖父母            | 7. 認定こども園 |
| 2. 母親    | 5. 幼稚園（認定こども園を除く） | 8. その他（ ） |
| 3. 父親    | 6. 保育園（認定こども園を除く） |           |

問8 宛名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- |       |                   |           |
|-------|-------------------|-----------|
| 1. 家庭 | 3. 幼稚園（認定こども園を除く） | 5. 認定こども園 |
| 2. 地域 | 4. 保育園（認定こども園を除く） | 6. その他（ ） |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない                          |

⇒ 問10へ

問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」～「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 身体的負担が大きく心配である                           |
| 3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい              |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある         |
| 6. その他（ ）                                   |

⇒ 問9-1を回答したあとは問10へ

問 10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありませんか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. いる／ある

2. いない／ない ⇒ 問 11 へ

問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 配偶者やパートナー

8. 保育士

2. 祖父母等の親族

9. 幼稚園教諭

3. 友人や知人

10. 民生委員・児童委員

4. 近所の人

11. かかりつけの医師

5. 子ども家庭支援センター

12. 自治体の子育て関連担当窓口

(市子育て支援課・児童青少年課)

6. 子育て支援施設

13. その他 【例】ベビーシッター、NPO など

(地域子ども家庭支援センター上の原、地域子育て支援センターはこぶね館、児童館等)

7. 市健康課・保健所

問 11 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## 宛名のお子さんの保護者の働き方 についてうかがいます。

※ここでいう「フルタイム(育児時間の時短勤務の方を含みます)」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」をいい、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム以外の就労」をいいます。

「母親」、「父親」について両方ともご記入ください。

母子家庭、父子家庭の場合は、それぞれ当てはまらない箇所の記入は不要です。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない ⇒ 問14へ	1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない ⇒ 問14へ

(1) で「1. フルタイムで就労している」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

(2) 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
a. 1週当たり _____ 日	a. 1週当たり _____ 日
b. 1日当たり _____ 時間	b. 1日当たり _____ 時間

(1) で「1. フルタイムで就労している」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

(3) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
a. 家を出る時刻 _____ 時ごろ	a. 家を出る時刻 _____ 時ごろ
b. 帰宅時刻 _____ 時ごろ	b. 帰宅時刻 _____ 時ごろ

問 12 の (1) で「3. パート・アルバイト等で就労している」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

問 13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 12 の (1) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

問 14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号 それぞれ1つ に○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】			父親【母子家庭は記載不要】		
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが _____ 歳 になったところに就労したい 3. <u>すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</u>			1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが _____ 歳 になったところに就労したい 3. <u>すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</u>		
希望する就労形態	①②どちらかに○	①フルタイム	希望する就労形態	①②どちらかに○	①フルタイム
	②に○をつけた方のみ	②パートタイム、アルバイト等 ↓ a. 1週当たり _____ 日 b. 1日当たり _____ 時間		②に○をつけた方のみ	②パートタイム、アルバイト等 ↓ a. 1週当たり _____ 日 b. 1日当たり _____ 時間

## 宛名のお子さんの平日（月～金）の定期的な幼稚園や 保育園などの利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。  
具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。  
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ                      2. 利用していない ⇒ 問15-4へ

問15-1～問15-3は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 宛名のお子さんは、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを定期的にどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「18」時のように24時間制でご記入ください。

	現在の利用状況		今後の利用希望	
	週当たりの 利用日数	1日当たりの 利用時間	週当たりの 利用日数	1日当たり の利用時間
1. 幼稚園 ※⑬ (通常の就園時間(おおむね9時から14時まで)の利用。ただし、各園により異なる)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
3. 認可保育所 ※① (都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
4. 認定こども園 ※⑭ (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
5. 小規模保育施設 (市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
6. 家庭的保育施設 ※③ (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
8. 自治体の認証・認定保育施設 ※⑥ (認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
9. その他の認可外の保育施設	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時



	現在の利用状況		今後の利用希望	
	週当たりの 利用日数	1日当たりの 利用時間	週当たりの 利用日数	1日当たり の利用時間
11. ファミリー・サポート・センター※⑩ (ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が、子どもを預かる事業)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
12. その他 (具体的に：_____)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 15-2 現在、上記のような幼稚園や保育園などの利用場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 東久留米市内
2. 清瀬、小平、東村山、西東京、新座のいずれかの市
3. その他の区市町村

問 15-3 子育てをしている方が、平日(月～金)に定期的に幼稚園や保育園などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労しているため
3. 子育てをしている方が就労予定がある、または求職中であるため
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため
5. 子育てをしている方が病気や障害があるため
6. 子育てをしている方が学生であるため
7. 子育てをしている方が出産前・産後の子どもの育児が大変であるため
8. その他 (\_\_\_\_\_)

問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-4 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「8. 子どもがまだ小さいため」を選んだ場合は、下線部に年齢を数字でご記入ください。

1. (子どもの教育や発達のため、あるいは子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がないため
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみているため
3. 近所の人や父母の友人・知人がみているため
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないため
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がないため
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ a. (\_\_\_\_\_歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 (\_\_\_\_\_)

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 ※⑬

（通常の就園時間（おおむね9時から14時まで）の利用。ただし、各園により異なる）

2. 幼稚園の預かり保育

（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）

3. 認可保育所 ※①

（都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）

4. 認定こども園 ※⑭

（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）

5. 小規模保育施設

（市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）

6. 家庭的保育施設※③

（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）

7. 事業所内保育施設

（企業が主に従業員用に運営する施設）

8. 自治体の認証・認定保育施設※⑥

（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育

（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）

11. ファミリー・サポート・センター ※⑯

（ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業）

12. その他

（具体的に： \_\_\_\_\_ )

13. どれも利用するつもりがない

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 16-1 上記のような幼稚園や保育園などを利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 東久留米市内

2. 他の区市町村

問 16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」～「12. その他」のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。

問 16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

## 幼稚園、保育所、認定こども園等の無償化について

以下は国が実施する内閣府から配付された「幼稚園、保育所、認定こども園等の無償化について」の抜粋です。お読みいただいた後、問 16-3 をお答えください。

3歳から5歳までの子供たちの幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料が無償化されます。

消費税率引上げ時の2019年10月1日からの実施を目指すこととされています。

- 子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化を一気に加速することとされました。幼児教育の無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから取り組まれるものです。
- 「新しい経済政策パッケージ」(2017年12月8日閣議決定)、「経済財政運営と改革の基本方針2018」(2018年6月15日閣議決定)において、以下の方針が示され、消費税率引上げ時の2019年10月1日からの実施を目指すこととされています。具体的な手続き等については、現在検討が行われているところです。

### 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する子供たち

#### 【対象者・利用料】

- 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳の全ての子供たちの利用料が無償化されます。
  - \* 子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園の利用料については、同制度における利用者負担額を上限として無償化されます(上限月額2.57万円)。
  - \* 実費として徴収されている費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は、無償化の対象外です。
  - \* 幼稚園(4時間程度)については満3歳(3歳になった日)から、保育所については3歳児クラス(3歳になった後の最初の4月以降)から無償化されます。その他の施設等については、上記取扱いも踏まえて、検討が行われているところです。

- 0歳から2歳児の子供たちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化されます。

#### 【対象となる施設・サービス】

- 幼稚園、保育所、認定こども園に加え、地域型保育(小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育)、企業主導型保育事業(標準的な利用料)も同様に無償化の対象とされます。
- ※ 最優先の課題である待機児童解消の実現に向けては、女性就業率80%に対応できる「子育て安心プラン」を前倒しし、2020年度末までに32万人分の受け皿整備を進めます。

### 幼稚園の預かり保育を利用する子供たち

#### 【対象者・利用料】

- 幼稚園の預かり保育を利用する子供たちについては、新たに保育の必要性があると認定を受けた場合には、幼稚園保育料の無償化(上限月額2.57万円)に加え、利用実態に応じて、認可保育所における保育料の全国平均額(月額3.7万円)と幼稚園保育料の無償化の上限額との差額である最大月1.13万円までの範囲で預かり保育の利用料が無償化されます。
- ※ 認定こども園における子ども・子育て支援新制度の1号認定の子供たちが利用する預かり保育も含まれます。

## 認可外保育施設等を利用する子供たち

### 【対象者・利用料】

- 認可外保育施設等を利用する子供たちについても、保育の必要性があると認定された3歳から5歳の子供たちを対象として、認可保育所における保育料の全国平均額(月額3.7万円)までの利用料が無償化されます。
- 0歳から2歳児の子供たちについては、住民税非課税世帯の子供たちを対象として、月額4.2万円までの利用料が無償化されます。

### 【対象となる施設・サービス】

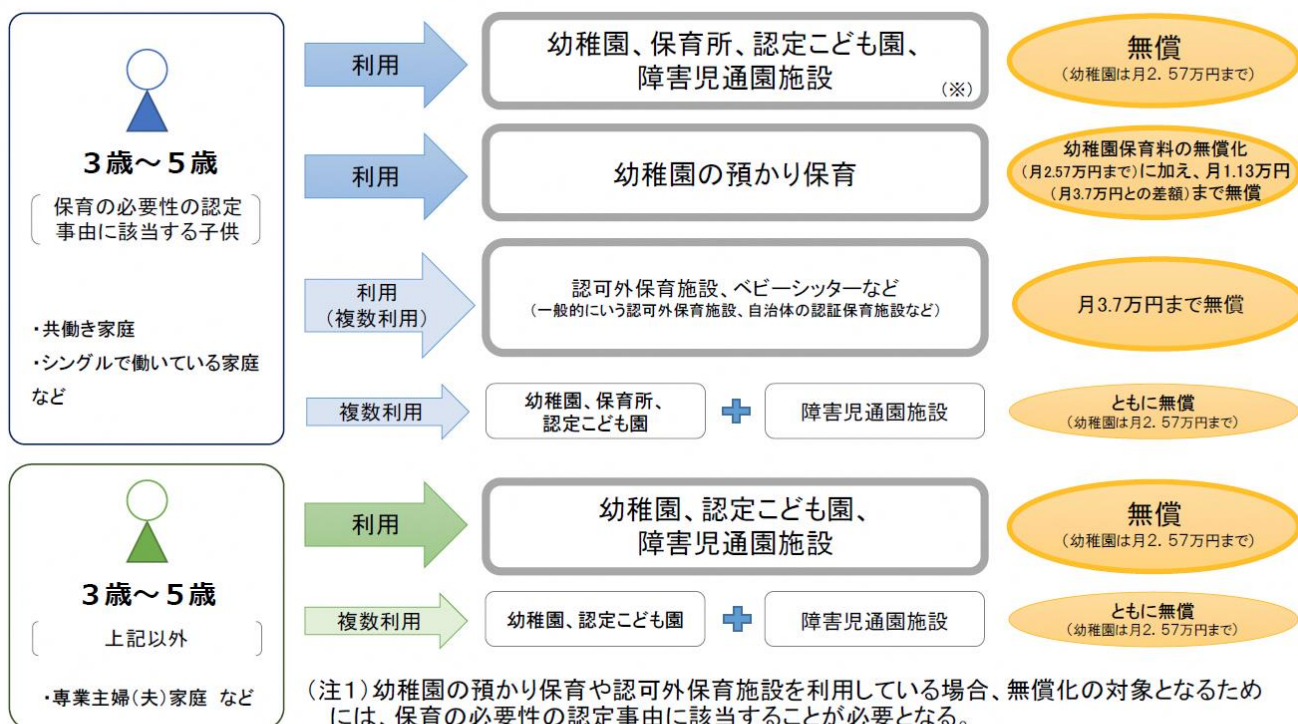
- 認可外保育施設等とは、一般的な認可外保育施設、地方自治体独自の認証保育施設、ベビーホテル、ベビーシッター、認可外の事業所内保育等を指します。このほか、子ども・子育て支援法に基づく一時預かり事業、病児保育事業及びファミリー・サポート・センター事業を対象とします。
- 無償化の対象となる認可外保育施設等は、都道府県等に届出を行い、国が定める認可外保育施設の指導監督基準を満たすことが必要です。ただし、経過措置として、指導監督基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする5年間の猶予期間を設けます。

## いわゆる「障害児通園施設」を利用する子供たち

### 【対象者・利用料】

- 就学前の障害児の発達支援(いわゆる障害児通園施設)を利用する子供たちについて、利用料が無償化されます。  
\* 3歳から5歳が対象です(なお、0歳から2歳児の住民税非課税世帯については、既に無償となっています)。
- 幼稚園、保育所、認定こども園といわゆる障害児通園施設の両方を利用する場合は、両方とも無償化の対象となります。

### 幼児教育の無償化の具体的なイメージ(例)



住民税非課税世帯については、0歳～2歳児についても上記と同様の考え方により無償化の対象となる。この場合、月4.2万円まで無償。

(注2) 上記のうち認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の届出をし、指導監督の基準を満たすものに限る(ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける)。

(※) 地域型保育も対象。また、企業主導型保育事業(標準的な利用料)も対象。

問 16-3 すべての方にうかがいます。前ページに記載した内容で幼児教育の無償化が拡大した場合、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

**1. 幼稚園 ※⑬**

（通常の就園時間（おおむね9時から14時まで）の利用。ただし、各園により異なる）

**2. 幼稚園の預かり保育**

（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）

**3. 認可保育所 ※①**

（都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）

**4. 認定こども園 ※⑭**

（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）

**5. 小規模保育施設**

（市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）※現在、東久留米市では実施していません。

**6. 家庭的保育施設※③**

（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）

**7. 事業所内保育施設**

（企業が主に従業員用に運営する施設）

**8. 自治体の認証・認定保育施設※⑥**

（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）

**9. その他の認可外の保育施設**

**10. 居宅訪問型保育**

（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）

**11. ファミリー・サポート・センター ※⑯**

（ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業）

**12. その他（例）わかかさ学園など**

（具体的に：

）

**13. どれも利用するつもりがない**

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

## 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（当市では「子育てひろば（地域子ども家庭支援センター上の原・地域子育て支援センターはこぶね館）」、「健康課の育児相談」が該当します）や児童館を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業	1 週当たり _____ 回	もしくは	1 ヶ月当たり _____ 回程度
2. その他の類似の事業 例：児童館等（具体名： _____ )	1 週当たり _____ 回	もしくは	1 ヶ月当たり _____ 回程度
3. 利用していない			

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい	1 週当たり _____ 回	もしくは	1 ヶ月当たり _____ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1 週当たり 更に _____ 回	もしくは	1 ヶ月当たり 更に _____ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない			

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用 したことがある		今後利用したい	
①プレ・パパマクラス（市健康課）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②出産に関する情報提供・育児相談（市健康課）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③親子で参加できる教室・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥赤ちゃん・ふらっと （乳幼児をもつ親が安心して授乳やおむつ替えができる施設として、都が認めたもの）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦子ども家庭支援センター （わくわく健康プラザ内）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧子育てひろば（地域子ども家庭支援センター上の原）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨子育てひろば（地域子育て支援センターはこぶね館）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩児童館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

## 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

### (1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 _____時から _____時まで
---	-----	-------------------------------

### (2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 _____時から _____時まで
---	-----	-------------------------------

問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 休養のため 5. 出産前・産後の子どもの育児が大変であるため 6. その他 ( )
--	--

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 _____時から _____時まで
--	-----	-------------------------------

問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 休養のため 5. 出産前・産後の子どもの育児が大変であるため 6. その他 ( )
---	--

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  
(平日(月～金)、幼稚園や保育園などを利用する方のみ)**

平日(月～金)、定期的に幼稚園や保育園などを利用していると答えた保護者の方(問15で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していらない方は、問23にお進みください。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などを利用できなかったことはありますか。

1. あった

2. なかった ⇒ 問23へ

問22で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 宛名のお子さんが病気やけがでふだん利用している幼稚園や保育園などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が仕事を休んだ	日
イ. 母親が仕事を休んだ	日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
オ. 病児・病後児の保育(めぐのへや)を利用した	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
ク. その他( )	日
ケ. 病気等で幼稚園や保育園などを休んだことはなかった	

問22-1で「ウ」から「ク」のいずれかに○をつけた方は  
↓  
次ページの問22-5へ

問22-1で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児施設等を利用したい ⇒ \_\_\_\_\_日

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問22-4へ

問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業  
(※現在、東久留米市にはありません。)
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
4. その他( )

⇒ 問22-3を回答したあとは問23へ



問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。

問 22-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                      |                       |
|--------------------------------------|-----------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安             | 5. 利用料がわからない          |
| 2. 地域の事業の質に不安がある                     | 6. 親が仕事を休んで対応するので必要ない |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数<br>など）がよくない | 7. その他（ ）             |
| 4. 利用料がかかる・高い                        |                       |

⇒ 問 22-4 に答えたあとは問 23 へ

問 22-1 で「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」の日数のうち、仕事を休んで看護したかった日数についても数字でご記入ください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看護したい ⇒ _____ 日 ⇒ 問 23 へ |
| 2. 休んで看護することは非常に難しい                   |

問 22-5 で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 2. 自営業なので休めない        | 4. その他（ ）          |

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を  
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育利用以外に、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業	1年間の利用日数
1. 保育所の一時的預かり (私用など理由を問わずに保育所で一時的に預かる事業)	_____日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長し預かる事業で不定期に利用するもの)	_____日
3. ファミリー・サポート・センター (ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)	_____日
4. ベビーシッター	_____日
5. 子どもショートステイ (出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業)	_____日
6. その他 ( )	_____日
7. 利用していない	

1から6のいずれかに○をした方は問24へ

問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がわからない
2. 利用したい事業が地域にない	7. 自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない
3. 地域の事業の質に不安がある	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	9. その他 ( )
5. 利用料がかかる・高い	

問 24 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。）。

1. 利用したい	合計日数 _____日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的	_____日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院 等	_____日
ウ. 不定期の就労	_____日
エ. その他 ( )	_____日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ	

問24へ  
次ページの

問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<p><b>1. 保育所の一時的預かり</b>  <small>(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)</small></p> <p><b>2. 幼稚園の預かり保育</b>  <small>(通常の就園時間を延長し預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)</small></p> <p><b>3. ファミリー・サポート・センター</b>  <small>(ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)</small></p> <p><b>4. ベビーシッター</b></p> <p><b>5. 子どもショートステイ</b>  <small>(出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業)</small></p> <p><b>6. 夜間養護等事業：トワイライトステイ</b>  <small>(児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業) ※現在、東久留米市では実施しておりません。</small></p> <p><b>7. その他</b> (具体的に： )</p>
--

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてアからカの当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	泊数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	_____泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	_____泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	_____泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	_____泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____泊
	カ. その他( )	_____泊
2. なかった		

⇒ 問26へ

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

## 宛名のお子さんが来年から小学校に入学する方に、小学校 就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

※2012年(平成24年)4月2日～2013年(平成25年)4月1日生まれのお子さんについてうかがいます。

⇒ その他の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日(月～金)の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週_____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3. 習い事	週_____日くらい
4. 児童館 ※⑫	週_____日くらい
5. 学童保育 ※⑪	週_____日くらい → 下校時から_____時まで
6. ファミリー・サポート・センター ※⑬	週_____日くらい
7. 放課後子供教室 (地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。)	週_____日くらい
8. その他(公園、学校の校庭など)	週_____日くらい

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日(月～金)の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

**※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。**

1. 自宅	週_____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3. 習い事	週_____日くらい
4. 児童館 ※⑪	週_____日くらい
5. 学童保育 ※⑩	週_____日くらい → 下校時から_____時まで
6. ファミリー・サポート・センター ※⑬	週_____日くらい
7. 放課後子供教室	週_____日くらい
8. その他(公園、学校の校庭など)	週_____日くらい

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 26 または問 27 で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。(1)(2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 _____時から _____時まで
--	---	-------------------------------

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 _____時から _____時まで
--	---	-------------------------------

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 _____時から _____時まで
--	---	-------------------------------

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など  
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

「母親」、「父親」について両方ともご記入ください。

母子家庭、父子家庭の場合は、それぞれ当てはまらない箇所の記入は不要です。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「3. 取得していない」を選んだ方はその理由を選択肢から選び、あてはまるものすべてをご記入ください。

(1) 育児休業を取得したか (いずれか1つに○)

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 取得した (取得中である) ⇒ 問30-1へ	1. 取得した (取得中である) ⇒ 問30-1へ
2. 取得していない	2. 取得していない

問 30 で「2. 取得していない」と○をつけた方にうかがいます。

(2) 取得していない理由 (あてはまるものすべてに○)

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた	7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった ((自営業等により) 就業規則に定めがなかった)	11. 職場に育児休業の制度がなかった ((自営業等により) 就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. 認可保育園への入所が難しくなるため	15. 認可保育園への入所が難しくなるため
16. 子どもが生まれた時、働いていなかった	16. 子どもが生まれた時、働いていなかった
17. その他( )	17. その他( )

※有期雇用とは、パートタイム・アルバイトなどのことをいいます。

問30-1 すべての方にうかがいます。子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた<br>2. 育児休業給付のみ知っていた<br>3. 保険料免除のみ知っていた<br>4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|--|

問30で「1. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問31へ

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問31へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問31へ

問30-2～問30-5は問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。下線部に数字でご記入ください。1ヵ月未満の場合は日数をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
実際の取得期間 _____ 歳 _____ ヶ月 （1ヵ月未満の場合） _____ 日	実際の取得期間 _____ 歳 _____ ヶ月 （1ヵ月未満の場合） _____ 日
希 望 _____ 歳 _____ ヶ月 （1ヵ月未満の場合） _____ 日	希 望 _____ 歳 _____ ヶ月 （1ヵ月未満の場合） _____ 日

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<p>_____歳 _____ヶ月 (1ヵ月未満の場合) _____日</p>	<p>_____歳 _____ヶ月 (1ヵ月未満の場合) _____日</p>

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 希望する保育所に入るため</li> <li>2. 配偶者や家族の希望があったため</li> <li>3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため</li> <li>4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため</li> <li>5. その他</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 希望する保育所に入るため</li> <li>2. 配偶者や家族の希望があったため</li> <li>3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため</li> <li>4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため</li> <li>5. その他</li> </ol>

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 希望する保育所に入れなかったため</li> <li>2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため</li> <li>3. 配偶者や家族の希望があったため</li> <li>4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため</li> <li>5. 子どもをみてくれる人がいなかったため</li> <li>6. その他 ( )</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 希望する保育所に入れなかったため</li> <li>2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため</li> <li>3. 配偶者や家族の希望があったため</li> <li>4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため</li> <li>5. 子どもをみてくれる人がいなかったため</li> <li>6. その他 ( )</li> </ol>

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働いたかった、もともと短時間勤務だった)</li> <li>2. 利用した</li> <li>3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働いたかった、もともと短時間勤務だった)</li> <li>2. 利用した</li> <li>3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)</li> </ol>



問 30-7で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（（自営業等により）就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（（自営業等により）就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）

問 30-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
子育て支援への満足度やご意見についてお伺いします。

問31 東久留米市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い ←	→ 満足度が高い			
1	2	3	4	5

問32 最後に、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。東久留米市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価結果(<http://www.city.higashikurume.lg.jp/shisei/sesaku/keikaku/1008588.html>)についてもご意見等ございましたら、ご記入ください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力いただきまして、ありがとうございました。  
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。